

【将来像】

【基本理念】

【基本目標】

【施策の方向】

【達成された姿】

誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを
人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会

高齢者等が、生きがいを持って、安心して生活できるまちづくり

基本目標 1
地域のつながりが深まり
安心・継続して暮らせるまち



基本目標 2
健康で生きがいに満ちた
生活を送ることができるまち



基本目標 3
充実した介護サービス等を
安定して受けられるまち

1 地域包括支援センターの
機能の充実

2 生活支援サービスの充実

3 医療・介護・福祉・
生活支援の連携強化

4 地域特性に応じた環境
整備

5 権利擁護の推進

6 認知症施策
「共生と予防」の推進

7 介護予防・健康づくりの
推進と保健事業の充実

8 社会参加と生きがい
づくりの推進

9 介護サービス等の充実

10 安定した介護保険事業の
運営

日常生活の困りごとをいつでも気軽に相談でき、
総合的に支援を受けることができる。

安心して生活できる多様な要望に沿ったサービ
スや居場所などが整い、住民同士の支え合いが
実感できている。

地域の中で切れ目なく必要な支援やサービス
を受けることができる。

多様な住まいが選択でき、かつ、バリアフリー等
にも配慮され、高齢者が生活しやすい環境が整備
されている。

高齢者の権利が守られ、尊厳を保持し、自分らし
く暮らし続けていくことができる。

本人の意思が尊重され、認知症とその予防につ
いて正しく理解され、地域の中で安心して生活す
ることができる。

介護予防や健康増進に対する意識が高まり、自
分の健康管理ができ、健康寿命の延伸につなが
っている。

就労や地域活動など居場所の確保により、様々
な社会参加の機会がある。

必要なときに過不足なく良質な介護サービス等
を受けることができる。

介護サービス等の需要、供給及び保険料とのバ
ランスがとれている。

地域包括ケア社会の実現

取り組むべきSDGsの目標

